

# 米子市 文化活動館 通信



華麗なおシドリたち



飛び立つオシドリ

## 秋は地域交流を推進 自主講座の募集も



館長 中村輝彦

中国地方で最高峰の鳥取県・大山(1729㍎)で、日ごとに秋の深まりが感じられます。中腹の高原で、秋の七草に数えられるススキが風になびき、今月下旬頃には紅葉の季節の到来が予想されます。酷暑の夏には、JR米子駅の南北自由通路の開通やコロナ前を彷彿させる盛大な「米子がいな祭」の開催が話題になりました。秋本番の米子市内

は美術や音楽など文化関連の多彩な行事でにぎわいを増すでしょう。米子市文化活動館では、11月5日に開催予定の地区の祭り「山地2区祭」に、当館を練習拠点とする米子がいな太鼓保存会のほか、米子吹奏楽団「オールディズ」と「米子ウィンドオーケストラ」の協力を得て、地域交流を図りたいと考えています。また、文化活動館の10月以降の自主講座では、初心者を対象とした織物教室入門(第2期)の募集のほか、11月と12月に分けて計2回開催する韓国料理教室の募集も行います。今年度スタートした各種の自主講座は順調に推移しています。新たな募集においても、この機会に参加のご検討をお願いいたします。

## 弓浜絣の世界(番外編)

文様⑤

前号は、倉吉市の倉吉絣を紹介しました。今号は、再び弓浜絣に戻ります。「城に松文」は、米子城をイメージしたのでしょうか。重量感あふれる城と松を組み合わせたデザインが見事です。「亀に松文と鶴に竹梅文」は、おめでた尽くしの文様です。鶴亀は長寿、松竹梅は吉兆の象徴とされています。



城に松文(山陰歴史館蔵)



亀に松文と鶴に竹梅文  
(山陰歴史館蔵)

## オシドリのペア



おしどり夫婦 秋、鳥取県にもオシドリの大群が飛来します。県西部では、最初に日野町の「鶉の池」に姿を見せ、次いで近くの日野川を訪れているようです。冬季の雄は、青や橙、赤色など多彩な装いで、特徴は翼の一部の三角形の飾り羽です。これは银杏(いちょう)羽と呼ばれ、オシドリのシンボルです。オシドリで思い浮かべるのが、「おしどり夫婦」でしょうか。その由来が、千葉県八千代市の真言宗「正覚院(しょうかくいん)」の縁起にあります。江戸時代初期に住職が残した古文書で明らかになっています。それによると、平安時代末期の保元年間(1156-1159年)、武士が阿蘇沼(印旛沼につながる川の沼らしい)でオシドリの雄を射止めた。その夜、女性が訪れ「なぜ、私の夫を殺したのですか」と嘆き悲しむ。身に覚えのない武士は困惑するが、女性は次の和歌を詠んで立ち去った。「日くるれば誘ひしものを 阿蘇沼の まこもがくれの 一人寝ぞうき」であった。大意は「日が暮れば一緒に眠っていたのに、阿蘇沼のまこもに隠れて一人で寝ることになって悲しいのです」だろうか。まこもは、水辺に群生するイネ科の多年草。この和歌で、武士は女性がオシドリの雌と思い当たった。武士は翌朝、オシドリの雄にくちばしを合わせ、息絶えた雌を発見した。出家した武士は、沼の辺に寺を創建。この寺が現在に引き継がれた正覚院で、通称「おしどり寺」として知られるようになったという。(裏面に続く)

木  
洩  
れ  
日  
散  
歩



コウノトリのペア



コウノトリのヒナたち

美しい伝説の紹介で終わりにしたいのですが、最新の研究で9割以上の野鳥が一夫一妻とみられています。逆に、ほ乳類の9割以上が一夫多妻だそうです。オシドリが特別ではなく、野鳥たちの大半が「おしどり夫婦、なのです。その一例です。長年、コウノトリを観察していますが、一度、ペアになったコウノトリの雌雄は、子育て後も仲睦まじく行動を共にしている姿を見かけます。不慮の死がペアを分かちまで「おしどり夫婦、なのです。毎年春には可愛らしいヒナが誕生しています。中国地方では今季、鳥取県北栄町で初めて電柱の上に営巣したペアのヒナ2羽が巣立ちしました。加えて八頭町でヒナ4羽、島根県雲南市でヒナ3羽、広島県内で初めて営巣の世羅町でヒナ3羽を観察。3県4カ所の巣のヒナ計12羽の成長を見守りました。全国ではヒナ約100羽が巣立ち、現在、ヒナたちは生まれ故郷を離れて「大人、たちに交じり、各地に飛来しています。旅の途中で、米子近辺にも姿を見せます。中国地方生まれで独り立ちしたヒナが、米子に立ち寄っての再会を心待ちにしています。(文、写真とも山根)

### 募集 韓国料理教室

韓国料理教室は、11、12月に各1回行います。①、②どちらかを選んで申し込み下さい。

◆日程① 11月25日(土) 10:00-14:00

② 12月2日(土) 10:00-14:00

◆メニュー

①は「韓国定番料理」がテーマで、即席キムチとゆで豚の「ポッサム」。

②は「江原道の郷土料理」がテーマで、そば粉のチヂミ巻きの「メモルジョンピョン」と白スンドゥブ。

◆定員 先着各16人

◆場所 米子市文化活動館 料理講習室

◆講師 申 ナリ先生

◆準備 エプロン、三角巾、筆記用具

◆受講料 500円(別途、材料費必要)

◆募集開始 両日程とも11月13日(月)9:00

### 学べる講座 アラカルト

#### 募集 織物教室入門講座(第2期)

◆期間 10/10-12/12 火曜日の6回

◆時間 13:30-15:30

◆講師 手織工房 藍慈彩(あじさい)

◆定員 10人(先着順)

◆受講料 6000円

◆募集開始 10月2日(月)9:00



中国語教室



いざという時の着物着付教室

休館日 ◆10月＝毎週水曜日と9日(月) ◆11月＝毎週水曜日と3日(金)、23日(木)

◆12月＝年末年始の29日(金)～令和6年1月2日(火)と毎週水曜日

利用時間 開館日の利用は平日と土曜日が9:00～22:00(日曜日は17:00まで)。部屋貸し出しは閉館の15分前まで。



### あとがき

警戒心が強い野鳥のナンバーワンは、オシドリでしょう。秋、県内に飛来直後のオシドリは、水面に浮かぶ姿を見つけた瞬間に逃げ去ってしまいます。直線距離100m余りでも、警戒している様子がありあり。そんな時に近づくのはNGです。観察には、待ち伏せ作戦しかありません。川や池では、オシドリの休憩場所を割り出し、そこが見通せる位置に隠れ、ひたすら待ちます。苦勞と幸運の末に出会えたオシドリに、感動すら覚えません。他方、都会の公園の池では、水面を無警戒でのんびりと泳ぐオシドリを見かけることがあります。人に慣れ、誰かが与える餌に依存しているようにも思えるのが残念です。警戒心をあらわにし、野生の本能に従ってこそ野鳥でしょう。都会の飼い慣らされたオシドリには失望し、同時に私たちの身勝手さも感じます。(山根)

お申し込み・お問い合わせは 米子市文化活動館 ☎0859(34)5154

〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目24-31 FAX=0859(30)4788

米子市文化活動館 指定管理者 旭ビル管理株式会社 <https://y-bunkak.com>